

社協たより

第175号

2017.9.1

点字・墨字版あります

【編集・発行】社会福祉法人 直方市社会福祉協議会 〒822-0034 直方市大字山部616-145
TEL 0949 (23) 2551 FAX 0949 (23) 2552
e-mail: nogata-shakyo@fuga.ocn.ne.jp HP: http://www.nogata-shakyo.org/

平成29年7月29日(土)おもちゃ図書館のおがたは開所10年目を迎えました。記念イベントでは音楽療法や手品、昔あそびや読み語りなどを楽しみ、子どもの笑顔があふれる一日となりました。

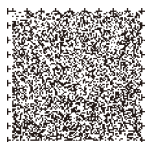


- 手話言語条例制定 2
- 地域の輪 (福岡県立直方高等学校ボランティア部)
情報の広場 (あいー 精神障害と向きあってー上映会、
第43回福岡県盲人福祉大会【直方大会】)
図書室 (空が青いから白をえらんだのです) 3

- お知らせ (平成29年度福祉まつり／点字講習会【入門編】／
赤い羽根共同募金開始／新人職員紹介)
ご寄付 4

もくじ

「障害の有る無しに関わらず寄つといで」
(田中)



子どもは、この様子を見ながら安心して嬉しそうにされています。ほかほかと陽だまりのようなこの場所を子どもたちの出会いと大人への通過点として、親子のほっと出来る場として、末永く続くことを願っています。

障害児者が、いつでも遊べる場として「おもちゃ図書館のおがた」は開設されました。毎週土曜日と第二、四火曜日に開かれています。お母さんやお父さんに抱っこされたり、手をひかれたり、子どもたちがやって来ます。もう待ちきれず小走りにその部屋に行く子どももいます。ボランティアの方は子どもの遊んでいる姿を見守りながら、いつの間にかお喋りをして一緒に遊んでいるのです。

kantera

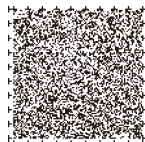
カンテラ



おもちゃ図書館のおがた
10周年

この社協だよりは、赤い羽根共同募金の配分金で作成しております。





◎手話で「いつでも・どこでも・誰とでも」意思疎通できるように◎

福岡県内初制定

直方市手話言語条例

平成29年4月1日、直方市手話言語条例が施行されました。同条例の制定に関して、直方市聴覚障害者協会の篠原耕一会長をはじめ、会員の方々に直方手話の会に手話通訳していただき、お話を伺いました。



直方市主催の同条例制定記念講演会での様子。

直方市手話言語条例とは

手話が言語として認識され、市民に普及することにより、ろう者（聞こえない人で手話を第一言語とする人）の福祉施策を一層充実強化し、すべての市民が手話を通じて互いを理解しあえる社会を構築するために、制定されました。

市の責務として、手話への理解の促進や普及のため積極的に施策推進することや、施策の実施状況を、ろう者、手話通訳者などと協議し、検証していくことなどが、定められています。

成立して、ろう者の思い

同条例が福岡県で初めて成立されたことは、とても嬉しく、感謝の気持ちで一杯です。「手話は言語である」と宣言し、手話を使って安心して暮らせる社会を実現するための第一歩を踏み出すことが出来ました。けれどもこれで終わりではありませんので、今後もしっかり検証していきたいと思っています。



直方市聴覚障害者協会の皆さん。前列右から2番目が篠原耕一会長。

直方市手話通訳施策とろう者の生活

平成6年、市庁舎内に手話通訳者を先駆的に配置されました。翌々年までに議会傍聴の通訳、市庁舎外へ専従手話通訳者の派遣を開始しました。（平成19年から登録手話通訳者も派遣開始）

そのため、ろう者が社会参加出来る領域（公的機関・学校・病院・地域行事）が、とても広がりました。

一方で、手話での会話が出来ない状況では、聴者（聞こえる人）とコミュニケーションが取れない、緊急避難時などで情報が直ぐに分からない、電光掲示板がなく電車の遅れなどの状況（アナウンスの内容）が分からない、交通事故や突然の車の故障時など、まだまだ困っていることがたくさんあります。

ろう者から市民へメッセージ

「手話は言語である」ということへの理解を深めていただくと共に、ろう者が生活のあらゆる場面で手話を使って安心して暮らせる社会の実現に協力していただき、手話を多くの方々に学んでいただければと思っています。

手話に興味がある、手話を学びたい方は

手話サークル（夜／毎週火曜日19時から、昼／毎週金曜日13時から・直方市中央公民館）や、直方市主催の手話奉仕員養成講座で学べます。

一人でも多くの方のご参加をお待ちしています。（藤田）

紹介

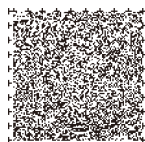
新役員

本会役員の改選を行いましたので新役員をご紹介します。

今後とも皆様のご支援、ご協力をお願いいたします。

（任期…平成29年6月～平成31年6月）

会長	丸本 直彦
副会長	古賀 章子
副会長	上村 清
理事	上川 光明
理事	安田 幸生
理事	中村 慎介
理事	菊池 義昭
理事	田中 壽子
理事	能間 聡
理事	志鶴 隆俊
理事	日野 智
理事	近藤 博史
理事	中西 省三
監事	山口 慎輔
監事	塩川 和之



地域の輪

地域に根ざした独自の
福祉活動をご紹介します。

学生ボランティア活動

福岡県立直方高等学校ボランティア部

福岡県立直方高等学校ボランティア部を訪問しました。主な活動は、直方市社協主催のよこいと運動会や福祉まつり、鞍手町の「くらの郷」での障害児者サロンへの参加、小学生の授業補助、地域合同清掃への参加などです。また、学校内ではペットボトルのキャップ収集など幅広く活動しています。

師になって命の誕生をサポートをしたいなどとしつかり夢に向かって進んでいる逞しい答えが返ってきました。顧問の先生のお話では「部としての発足は10年前で、ボランティアと肩を張らず気軽に参加してほしい」とのお話でした。

「平等の中にある差別」「差別の中にある平等」を見る目を養う、そして一人ひとりを尊重していく。大変難しいことですが部活動を通して身につけて欲しいと思いました。

(石黒)

将来の夢を
尋ねてみると、看護
師や小学校の先生、保
育士、助産



元気いっぱいボランティア部の皆さん。

情報広場

あいー精神障害と
向きあってー上映会

日々の生活に生きづらさを感じている精神障害者のありのままの日常を通して、彼らの苦しみや長いトンネルを抜けた先にある「希望」を見出し、いてく姿を知ってもらおうと、彼らが安心して暮らせる社会の実現と、精神障害に對する人々の理解を深めることを願って製作されたドキュメンタリー映画。申し込みは不要です。

●日時

平成29年11月6日(月)

9時30分開場10時開演(95分)

●会場

直方市総合福祉センター

【入場無料】定員100名

●主催

直方市精神保健福祉ボラン
ティア「ゆいの会」

●問い合わせ

ゆいの会事務局 長元
TEL(0949) 2214972

第43回福岡県盲人福祉
大会(直方大会)

県内を4つのブロックに分け、巡回で開催している福岡県盲人福祉大会を17年ぶりに「直方市」を会場として実施します。

大会の内容は、障害者の65歳介護保険優先問題についての講演や、アトラクションとして「直方を熱くする会員」によるギター演奏と歌、体験発表など、絆(きずな)を大会テーマに様々な催しを予定しています。

一般の参加者も大歓迎です。ぜひ、お気軽にお越しください。

●日時

平成29年9月24日(日)

10時30分より

●会場

ユメニテイのおがた
小ホール【入場無料】

●主催

福岡県盲人協会

●問い合わせ

直方盲人協会 高松 久
TEL(0949) 2615055

図書室

「空が青いから
白をえらんだのです」

ー奈良少年刑務所詩集ー

詩 受刑者
寮 美千子
発行所 長崎出版株式会社

受刑者の中にはDVにさらされ、虐待されたという生育歴のある者が多くいて、様々な犯罪歴をもったほとんどの少年達の母親への深い思いが、色々な形で詩の中に表れています。全国でも奈良少年刑務所のみ行われている先進的更生教育「社会性涵養プログラム」の一環として、受講生たちが書いた詩が、これまで語られることのなかった彼らの心情と生きてきた家庭や社会の現実をあらわにしています。

詩集には57編が収められていて、詩をほとんど知らないため、決まった形も飾り気もない。でも、強く心に伝わってくる詩が紡ぎだされます。

母を想う男の子の純な心の響きに、思わず目頭を押さえるながら一気に読んだことです。

(広田)



「平成29年度福祉まつり」開催します

毎年多くのボランティアに支えられて開催している福祉まつり。

各種ステージや手話コーラス、見えにくさ体験・車いす体験・高齢者体験などの各福祉体験コーナー、おいしい食べ物や物販など催し物が目白押しです。

どなたでも自由に参加できますので、ぜひ遊びに来てみてください。

■と き：平成29年10月22日（日）
9時30分から14時30分（予定）

■ところ：直方市体育館（直方市直方 674-25）

※JR直方駅から（まで）の無料送迎バスを下記のとおり運行します。

JR直方駅発 1便：8時30分

2便：9時10分

直方市体育館発 まつり終了15分後

■問い合わせ 直方市社会福祉協議会

TEL 0949(23)2551

点字講習会（入門編）

受講者募集

点字の基礎を学び、実際に点字を打ち、点字の文章を訳すまでを学習します。点字や視覚障害について、一緒に学びませんか。

■と き：平成29年10月5日から11月30日
までの毎週木曜日（11月23日は除く／全8回）10時から12時まで

※全てに参加できなくても受講できます。

■ところ：直方市総合福祉センター
（直方市大字山部 616-145）

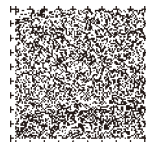
■参加費 テキスト代として300円

■募集人員 20人

■主催 点訳サークルきつつき

■問い合わせ 直方市社会福祉協議会

TEL 0949(23)2551



新人職員紹介



にし ゆきこ
西 由起子 さん

初めまして。7月より勤め始め、覚えることがたくさんあり、てんやわんやしています。

これから皆様といっぱいお話をしているんなものを吸収し考え自分なりのスタイルをみつけていきたいです。力を貸して頂けると幸いです。頑張って参りますのでよろしくお願い致します。

ちなみに、私はチョコレートが好きなのでチョコレートを片手に来館していただくと嬉しいですよ。笑)) すうすうしいですね。笑))



かがわ あゆみ
香川 亜弓 さん

はじめまして！
中間生まれ、水巻育ちの「香川」です。
まだまだ慣れないことばかりですが、楽しく頑張りたいと思います！

今の楽しみは、毎週金曜日のにこにこ教室で皆さんとお話をすることです。

お休みの日は、そっくりな娘とどこかをウロウロしていると思うので、見かけたら声を掛けてください！

編集後記

随分昔のこと。その当時の聴覚障害の会長さんが言葉の出てくりにくい知的障害のある子に会うたびに手話で「おはよう」「ありがとう」を教えてくれていた。それは、にこやかに待ちながらであった。

手話言語条例制定がなされ、当事者の方やボランティアの方たちの力を尽くす思いに敬服。
(田中)

赤い羽根共同募金運動が始まります

今年も10月1日から12月31日までの3ヶ月間、赤い羽根共同募金運動が全国で一斉に展開されます。

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するための募金として社会福祉法に位置づけられ、市内の高齢者、障害者、子どもたちやボランティアなど、様々な地域の福祉活動を支援しています。

皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

赤い羽根のホームページ

<http://www.akaihane.or.jp/>



香典返し寄付金

平成29年5月11日から平成29年8月10日
10件 合計金額 295,000円
(お名前は承諾された方のみ掲載、敬称略)

ご寄付ありがとうございます。

- | | | | | |
|-----------------|-----------------|-----------------|---------------|-----------------|
| ● 須崎町 (故) 小鶴 憲吾 | ● 下新入 (故) 松藤三喜子 | ● 上境 (故) 金尾 福磨 | ● 中泉 (故) 林 梅香 | ● 頓野 日野 絹江 |
| ● 中泉 (故) 広瀬 勝己 | ● 上境 井上 宏 | ● 上頓野 (故) 武内 英雄 | ● 古町 金本 儀市 | ● 須崎町 (故) 岩下 弘子 |

